

社協あんなか



この機関紙は共同募金の配分金によって発行されます。

平成23年4月20日発行



…もくじ…

- ②…災害特集～東北関東大震災情報～
- ③…〃
- ④…平成23年度安中市社会福祉協議会事業計画
- ⑤…平成23年度安中市社会福祉協議会予算
- ⑥…地域の話題
- ⑦…ボラセン・サロン通信、ふくしの豆知識
- ⑧…広報委員募集、各種保険受付中、心配ごと相談について等

多くの方々から集まった災害支援物資

支援物資を被災地へ

安中市と社会福祉協議会では区長会、民生委員協議会、日赤奉仕団体等を通じ、皆様から災害支援物資の提供をお願いしております。市民の皆様には、震災直後より多くの支援物資を提供していただき感謝申し上げます。

今後も被災地の状況に応じて、必要な物資の情報をお知らせいたしますので、引き続きご協力をお願いいたします。お預かりした支援物資は、県西部行政事務所等を通じ被災地や市内に避難された方々にお届けいたします。

(事務局)

東北関東大地震特別紙面

市内福祉施設紹介を休載しました。通常紙面と体裁が異なることがあります。ご了承ください。

東北関東大地震により、被災された皆さんに謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。
安中市社会福祉協議会役員・職員一同

災害特集 ~東北関東大震災情報~

震災から一ヶ月以上経過致しましたが、被災地では支援を必要としている人が大勢おります。適切な時に必要な支援をすることが一日も早い復興に繋がります。市民の皆様には、下記の情報を参考にしていただき引き続きご支援・ご協力を願いいたします。

義援金について

義援金は被災者本人を援助する寄付金ですが、被災地の市場を活性化させ経済活動の復興にも効果があります。

被災地への交通網が回復するまでは、災害支援物資やボランティアの受け入れが困難なことが多いため、まずは義援金での協力が被災者や被災地域への支援になります。

当会では、安中市と協働して義援金を受付し、日本赤十字社等を通じて支援をしております。

義援金受付について

【募集期間】 平成23年3月14日（月）～平成23年9月30日（金）

【受付場所】 安中市福祉課 松井田支所健康福祉課 安中市社会福祉協議会本所・支所

【受付方法】 上記窓口まで持参してください。

【領収証】 希望者のみ発行いたします。＊寄付金控除の対象となります。

【問い合わせ】 下記のとおり

***義援金をかたる詐欺等が全国で多発しておりますので注意をお願いします。**

例：実在する団体名で寄付を求めたり、市職員を名乗って電話で現金を振り込ませようとするケースや「地震に耐えられるようブレーカーの工事が必要です」と言って現金を求める事案があります。

災害支援物資について

「被災者の気持ちを考えて…とりあえず大変だから何でも送ろう」は迷惑になります。被災地のボランティアセンターなどに多くの物資が送られますが、ありがたい反面、取り扱いに多くの労力と時間が割かれ、優先すべき仕事が後回しになる事態を招く原因となります。被災地の状況に応じて必要な物資が変更されますので「今、何が必要なのか」を下記までお問い合わせの上、ご協力を願いいたします。

【送られて困るもの】

1. 中古衣類や生活用品、食料品、学用品などを一緒につめて送られる小包（商品ごとに分ければ可）

現地で品物別に仕分けし直さなければなりません。また、中古衣類はほとんど着ないのが現状です。

2. 調理した食材（おむすびやゆで卵等）

手作りのもの、心のこもったものということで気持ちはありがたいのですが、交通網がマヒ・停滯している状況下では、届くまで腐敗してしまうことがあります。

*上記物資も時と場合によっては役立つこともあります。利用されなかった物資の多くは処分されます。処分するまでの保管や処分には多額の費用がかかり、ゴミを増やすこともあります。

義援金及び災害支援物資に関する問い合わせ

安中市役所 福祉課 382-1111	松井田支所 健康福祉課 393-7070
--------------------	----------------------

安中市社会福祉協議会・ボランティアセンター	本所 382-8397
-----------------------	-------------

支所 393-3948

ボランティアについて

災害時のボランティアは、被災された人への支援、災害支援物資の仕分け・配達、被災地での清掃、復旧作業、県内に避難された方への支援等、多くの人手を必要としています。

しかし、勝手に動いてしまっては、返って迷惑になりかねません。当会ボランティアセンターでは、どこでどんなボランティアが必要なのか情報収集をしています。ボランティア参加を希望される方はご相談ください。（電話番号は、P 2 参照）

災害ボランティアの心構えについて

1 自分自身の自立

被災地ではボランティア自身の飲食等の調達や宿泊場所の確保が困難であることが想定されます。必需品を調達し、活動に必要な機材は自分で確保する。自分の活動内容や役割を確認して自活できるようにしましょう。

2 意思の疎通・尊重

被害を受けた人が「被災者」という名のもとに、一括されることに抵抗を感じる人もいます。どんな状況であれ、相手の気持ちを大切にし、尊重する気持ちをもって意思の疎通を図るように心がけることが大切です。活動は、「～してあげる」といった押しつけがましいものではなく、被災者の立場に立って活動することが大切です。

3 考えた行動

ボランティアとしてできること、できないこと、してはいないことを考えて無理のない活動をすることが大切です。活動自体が被災者の自立を阻害したり、自らが危険に陥ったりしないよう心がけることが重要です。

4 健康管理・ボランティア活動保険への加入

ケガや病気、事故に充分注意し健康管理に注意することが大切です。万一の事故、ケガや二次災害などに備え、ボランティア活動保険に加入することをおすすめします。（P 8 参照）

災害ボランティアの装備・準備について（被災地に行く場合）

○服装	○寝袋等
気候に合わせた動きやすい服装が良い。 ジャケット、コート、長袖、長ズボン、雨具、 フリースインナーなどお薦め。	被災地で布団を貸りることはできません。持つ ていない人は購入し持参。
○靴	○食べ物
靴の内部に水がしみこまないトレーニングシュー ズやキャンピングシューズ。必要に応じ長靴。	保存食で高カロリーのものが良い。 水1日3L、1食あたり1,000カロリー程度持つ いくことが望ましい。（やや多めの準備）カ ロリーメイト、乾パン等が良い。飲み物やゴ ミを持ち帰る袋も準備。
○帽子	○救急セット（医薬品）
地震の直後は建物の倒壊や落下物によるケガ の危険があるのでヘルメットを持参。	包帯、絆創膏、頭痛薬、風邪薬、胃腸薬、ビ タミン剤等を活動日数に応じて用意。保険証 の写しも念のため用意。
○手袋	○地図
軍手は危険なのでなるべく革製の作業手袋が 良い。	事前の下調べも必要。携帯しやすいコンパク トなものが望ましい。
○マスク	○簡易トイレ
普通のマスクでは効果がないので、防じんマ スクや不織布を用いた工業用のマスク。	ビニール袋と古新聞で代用。トイレットペーパー やティッシュペーパー等を準備。
○お金	○その他の装備
あまり多く持ち過ぎないように、体から離さ ないようにする。	携帯電話、ラジオ、懐中電灯、筆記用具があ れば便利。
○リュックサック	
荷物はひとつにまとめるのが望ましい。体格 に合わせたものが良い。	

平成23年度安中市社会福祉協議会事業計画

重点目標

1. 地域福祉の推進

福祉のまちづくりを進めるためには、支部社協の育成強化を図り、行政並びに関係機関・団体及び市民との連携と協働のもとにボランティアの育成、福祉教育及び子育てサロン、ふれあい・いきいきサロンの支援の強化、住民参加型福祉サービスの啓発、福祉ふれあいまつりの充実などを積極的に推進するとともに、地域福祉活動計画に沿って更に推進します。

2. 在宅福祉サービスの充実強化

居宅介護支援や訪問介護などの介護保険関係事業や障害者自立支援給付関係居宅介護事業など在宅福祉サービスは、社協事業の大きな柱であることから、利用者等のニーズを的確に把握するとともに、福祉サービスに対する苦情の適切な解決を図り、個々の利用者に即した適切なサービスと利用者の立場に立った良質なサービスの提供に努めるとともに、担当職員の資質向上を図ります。

3. 社協組織の充実・強化及び広報活動の充実

社会福祉協議会の事業内容は、事業規模も拡大しているので、管理体制を含む社協組織の機能強化を図り、職員資質の向上のための研修等を積極的に進め、地域福祉の推進役として十分機能できるような事務局体制の充実・強化を図ります。また、社協だよりやホームページを活用した広報活動は、社協の組織や事業の周知という面で重要な役割を果たすので、一層の充実を図り事業の積極的な提供を図ります。

主要事業

法人運営事業

理事会・評議員会等の開催、社会福祉大会開催、表彰、顕彰、慶祝、祝い金・見舞金等支給、配分、会員制度の啓蒙、社協だより発行・ホームページ運営管理、各種チャリティー事業後援・

協力、寄付金の受入、経理及び諸事務、福祉団体等への助成 他

地域福祉事業

支部社協強化・助成、ふれあい・いきいきサロン、子育てサロン活動支援、福祉人材育成事業（訪問介護員養成研修2級課程）、福祉ふれあいまつり、福祉教育事業、ボランティアセンター事業、共同募金活動への協力（歳末たすけあい募金配分事業）、福祉バス事業、一人暮らし老人保養事業、住民参加型福祉サービス「きずな」、日常生活用具・福祉車両貸出、小地域福祉活動推進事業（安中市ふれあいネットワーク）

福祉サービス利用支援事業

小口生活資金貸付事業、生活福祉資金貸付事業、心配ごと相談、福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

在宅福祉サービス事業

居宅介護支援事業、指定訪問介護事業、障害者自立支援給付における居宅介護支援事業、障害者自立支援給付における訪問介護事業、ホームヘルプサービス事業、福祉有償運送事業（松井田支所）

公益事業

小規模通所授産施設ワーク秋桜まついだの事業
障害者福祉ふれあいセンターの事業

収益事業

すみれヶ丘聖苑売店の事業

福祉団体事務

安中市老人クラブ連合会、群馬県遺族の会安中支部、安中市母子会、安中市ボランティア連絡協議会、安中市ふれあい・いきいきサロン推進連絡会、福祉ふれあいまつり実行委員会

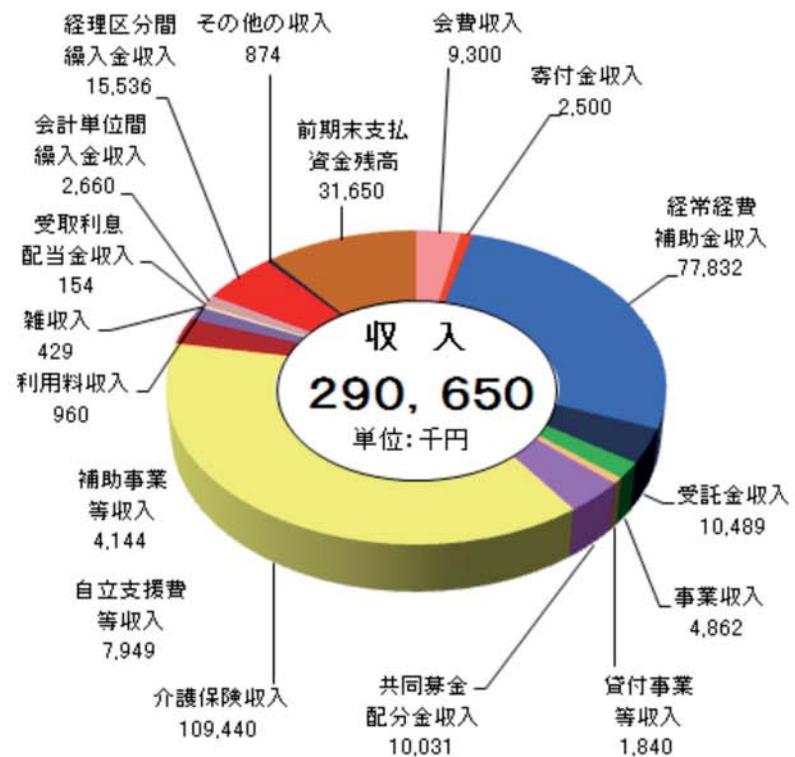
平成23年度安中市社会福祉協議会予算

公益事業特別会計 単位：千円

収 入	
寄付金収入	3
受託金収入	47,060
事業収入	5,350
雑収入	110
受取利息配当金収入	3
前期末支払資金残高	6,500
計	59,026

支 出	
人件費支出	36,716
事務費支出	6,400
事業費支出	6,725
負担金支出	25
会計単位間繰入金収入	2,660
固定資産取得支出及び繰入支出	103
予備費	6,397
計	59,026

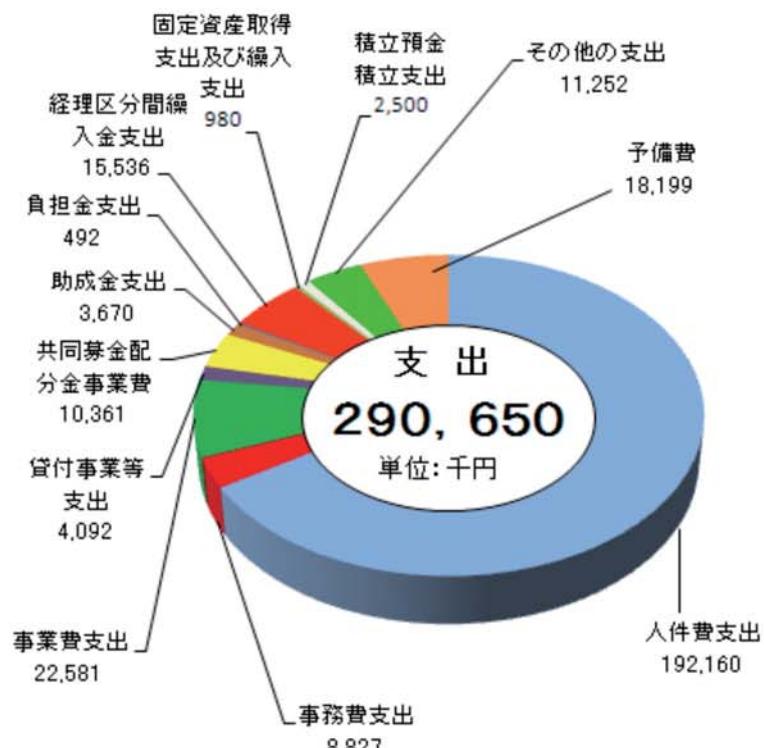
一般会計



収益事業特別会計 単位：千円

収 入	
売上高	7,200
受取利息配当金収入	1
雑収入	5
前期末支払資金残高	1,000
計	8,206

支 出	
売上原価	5,616
一般管理費	1,903
事務費	119
法人税、住民税及び事業税	20
予備費	548
計	8,206



地域の話題

情報は
社協事務局へ

安中本所 TEL 382-8397
松井田支所 TEL 393-3948

発足してから初めて開催 会員同士で情報交換

住民参加型福祉サービス「きずな」をご存知ですか。介護保険サービスが使えない高齢者を始め、困っている方を地域の住民が主体となり支えていく活動です。

このサービスを提供するボランティア会員の研修会が、先般地域福祉支援センターで開かれました。

発足以来3年、ボランティア故の問題や失敗例、成功例等が真剣に議論されました。
(酒井)



グループワークで情報を共有する参加者



市保健師による出前講座

「津雲ふれあい・いきいきサロン」誕生 九十九支部

2月28日（月）、九十九創作館において当会九十九支部長（白石敏行氏）、民生委員、老人クラブ会長を含めて40名がふれあい・いきいきサロン開設会に参加しました。

担当者からふれあい・いきいきサロンについて説明があり、DVD放映が30分間行われました。

市福祉課保健師により健康講話と健康体操が行われ、茶話会では月1回と次回の日程を決めて開設会は終了しました。
(上原)

笑顔で閉講式 学んだことを地域のために

3月7日（月）、安中市地域福祉支援センターにおいて訪問介護員養成研修二級課程の閉講式を実施しました。

市内福祉・医療関係団体等の協力の下、修了生36名は講義58時間、実技演習42時間、実習30時間合計130時間の研修を休むことなく受講、修了証を手にしました。

受講生は、終了した達成感と資格取得の喜びで自然と笑みがこぼれています。

今後は習得した介護技術や知識を生かし、地域や介護の最前線で活躍することが期待されます。
(事務局)



修了証を受領する受講生

サ ロ ン 通 信

救 急 法 講 習 会
20名参加

2月17日（木）、安中市ふれあい・いきいきサロン推進連絡会主催のAEDを使用した救急法講習会が、安中消防署において開催されました。

前半は、高崎市等広域消防局の上原瓦氏による地域対策、地域防災計画、地震のメカニズム、災害対策等についての講習が行われました。

後半は、緊急消防援助隊による救命の連鎖法について、応急手当の必要性や人工呼吸の仕方など、実際にAEDと人形を用いて心臓への除細動（電気ショック）体験を行いました。
(伊勢崎)



消防援助隊から指導を受けている参加者

ボ ラ ン テ ィ ア セ ン タ ー 通 信

みんなで楽しく体験
レクの技術を習得



参加者全員でレクリエーション

2月8日（火）9日（水）、安中市地域福祉支援センター3階会議室にて「レクリエーションボランティア養成講座」が開講されました。（受講者：男2名女17名）

伊藤岳央講師（高崎社協）と大塚清一講師（うすいの里）からボランティアの定義・原則等を学びました。そして、今井寿美枝氏（群馬レクリエーション協会）と佐藤けさ子会長（レクボラほほえみ）からは、レクリエーションの実技講義と活動事例発表を聞くことができました。

気負わず無理せず自然に援助にあたる知識、技術を習得する事が出来ました。
(吉田)

ふくしの豆知識

～より良いまちにするために福祉を知ろう～

福祉に関する疑問や知りたい福祉用語等を市民の皆様から募集しています。ご意見がありましたら当会までご連絡ください。

ぼしほけんすいしんいん

「母子保健推進員」って何？？

市内の母子保健事業の協力・紹介など、こどもたちや子育てをする親と行政をつなぐパイプ役をしています。安心して妊娠・出産・育児ができるよう地域の中で身近な相談者としての役割も担っています。地域の母子保健活動をお手伝いして頂ける人を各地区で推薦し、市長から委嘱され活動しています。

【活動内容】

家庭訪問	市事業への協力	子育て交流会の開催
・こんにちは赤ちゃん事業 ・乳幼児健診のご案内 他	・乳児健診での身長、体重測定 ・「子育てセミナー」の託児 他	・各地区ごとに自主的に自主企画として行っています

広報委員募集

【内 容】本機関紙「社協あんなか」の取材、記事作成、編集を通じ、地域福祉に参画していただきます。

【対象者】福祉活動や広報活動に関心があり、デジタルカメラの操作ができる人。

【募集人数】若干名

【研 修】委嘱後委員を対象にした研修を開催します。初心者の方でも、広報活動ができる人は遠慮せず気軽に参加してください。

【お問合せ】安中市社会福祉協議会 安中本所 382-8397
松井田支所 393-3948

各種保険受付中

平成23年度ボランティア活動に関する各種保険の受付を行っております。

【保険の種類〔主なもの〕】

- ①ボランティア活動保険〔年度掛け捨て〕
ボランティア活動中の事故による怪我や賠償責任等を補償します。
- ②ふれあいサロン保険〔年度掛け捨て〕
ふれあいサロン活動中の参加者の事故による怪我等を補償します。
- ③ボランティア行事用保険〔行事ごとの加入、掛け捨て〕
福祉活動など様々な行事における事故を補償します。

【保険料・補償額】

保険により異なります。

【補償期間】

申し込みの翌日から年度末日まで
(行事保険は除く)

【申し込み】

安中市社会福祉協議会ボランティアセンター
安中本所 382-8397
松井田支所 393-3948

寄付者の紹介 (敬称略・順不同)

平成23年2月1日～平成23年3月31日

- ・信越化学労働組合磯部支部
- ・磯部薬師長寿会
- ・安松カラオケ愛好会
- ・東京電力(株)群馬支店高崎支社
- ・市立西横野小学校
- ・市立確東小学校
- ・市立第二中学校
- ・プルタブ寄付換金分 (社協受付分)
- ・平柳富士子
- ・須藤弘子
- ・匿名

*東北関東大震災義援金除く

あたたかいご協力ありがとうございます

敬老号中止のお知らせ

老人クラブ連合会主催の平成23年度安中市敬老号は諸般の都合により中止になりました。

心配ごと相談について (5月・6月)

(安中本所) とき: 毎週木曜日 9:00～11:30 (祝祭日を除く)

5月 12・19・26 6月 2・9・16・23・30

ところ: 安中市地域福祉支援センター 1F相談室

(松井田支所) とき: 每週月曜日 13:30～16:00 (祝祭日を除く)

5月 2・9・16・23・30 6月 6・13・20・27

ところ: 安中市役所松井田庁舎 2F第9会議室